



学校だより

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

令和8年6月29日

7月号

横浜市立日枝小学校

一人ひとりのチャレンジと、みんなでつくる力

校長 望月 重晴

紫陽花が色鮮やかに咲く季節となりました。梅雨の合間には、夏の訪れも感じられます。校庭に響く子どもたちの声にも、どこか力強さが増してきたように思います。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、6月は、「チャレンジ」に向かう子どもたちの姿がありました。水泳学習や「なかま（生活科・総合的な学習の時間）」の活動の立ち上げなどに取り組み、自分たちの学習が充実していく姿でした。



育ちの森のあじさい

水泳学習は、天候によりプールに入ることができていない学年もありますが、それぞれが自分の目標をもち、「できることに挑戦しようとする」姿が多く見られます。プールに入った学年では、水に顔を付けることや浮くこと、より長く泳ぐことなど、一人ひとりが目標に向かって繰り返し取り組み、少しずつできることを増やしていく様子に、確かな成長を感じています。

なかまの活動は、どの学級でも年間を通して取り組む大切な活動のひとつです。知りたいこと、できるようになりたいことなど、目的をもって探究的に学んでいきます。その大事なきっかけ作りとなるこの時期は、子どもたちがどれだけ「やりたい」「挑戦してみたい」と思うことや人に出会えるかが重要になります。教師の工夫にも力が入るところです。ご家庭でなかまの活動の話題が出ることもあるかもしれません。ぜひ、いろいろと話を聞いていただければと思います。

5年生は、1泊2日で三浦宿泊体験学習を行いました。集団での生活の中で、互いに声をかけ合いながら活動を進める姿や、自分の役割を意識して行動する姿が多く見られました。みんなで力を合わせて生活をつくり上げようとする経験は、一人では得られない大切な学びとなりました。この後続く、4年生の上郷宿泊体験学習や6年生の日光修学旅行でも頑張っている姿です。

他にも、それぞれの学年や学級では、教科等で自分の課題や学びについてじっくりと取り組みました。このあと7月は、夏休み前のまとめの時期となります。これまでの学習や生活を振り返り、「できるようになったこと」に目を向けることで、自信をもって次の目標へとつなげることができます。学校としても丁寧に支援してまいります。

まもなく迎える夏休みを安全で充実したものにするためには、この1か月の過ごし方が大切になります。学校生活はもとより、放課後の過ごし方においても、規則正しい生活や安全への意識を高めていくことが求められます。公園や道路など、公共の場所で周りの人に迷惑をかけない過ごし方、交通ルールの遵守や水の事故への注意、熱中症への対策など、日常の中で意識を積み重ねていくことが、安心して夏休みを迎えることにつながります。

ご家庭や地域の皆様には、日頃より子どもたちを温かく見守っていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちが安全で健やかに過ごせるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。